

〔重要なお知らせ〕

本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- 東京都歯科技工士会会員
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士

〔申込開始日〕

- 東京都歯科技工士会会員 : 1月22日(木) AM10時～
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 1月24日(土) AM10時～

* 受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

〔申込方法〕

- ① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

* 定員になり次第締切といたします。

〔LINE 公式アカウント登録のお願い〕

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技ではLINE公式アカウントを設けています。LINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



申込用



都技LINE公式
アカウント二次元コード

〔お問い合わせ〕

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

e-mail: togi-info@to-ginet.com

2025 年度
応用講習会Ⅳ

ハイブリッドセミナー

女性歯科技工士の働き方 (仕事と育児の両立)

「女性技工士のキャリア形成におけるライフイベントの影響」

田川 美紀 先生

「デジタル技工が拓く、新しいキャリアのかたち

— 若手・女性歯科技工士が活躍できる仕組みと実践例 —」

滝沢 琢也 先生

「趣味と子供と技工」

井ノ内 由布子 先生

座談会

「女性歯科技工士が仕事を続けていくために必要な事」

座長: 傳寶 弥里 先生



Tokyo master course Science Lecture

〔開催日時〕

2026年 2月22日 日

受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

オンライン

定員 80名 参加費 無料

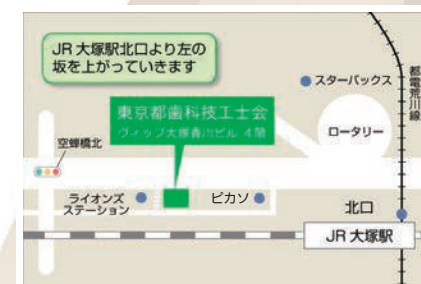
会場受講

定員 30名 参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室

東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

一般社団法人 東京都歯科技工士会



女性歯科技工士の働き方（仕事と育児の両立）

女性技工士のキャリア形成におけるライフイベントの影響

歯科技工の世界では、働き方も人生のペースも一人ひとり異なります。本講演では、女性が技工士としてキャリアを築いていくうえで直面しやすい課題と、その中で見てきた“等身大の働き方”についてお話しします。

かつての技工所は長時間労働が当たり前で、女性が技術を磨き続けるには環境的な制約が多くありました。結婚や出産を控える女性は採用で不利になったり、育休制度が整っておらず退職を選ばざるを得なかったり、家庭と仕事の両立が非常に難しい時代もありました。働く意欲があっても、制度や理解が追いつかず、肩身の狭さを感じる場面も少なくなかったと思います。

しかし、デジタル技工の普及や働き方改革が進んだ今、

状況は確実に変化しています。業務の効率化や環境整備が進み、女性技工士の数も増え、結婚や出産とキャリアを無理なくつなげられる職場も増えてきました。技術の世界に性別は関係なく、経験や視点の多様性こそが現場の力になっていく—そんな時代が確かに訪れています。

とはいえ、仕事と家庭のバランス、パートナーとの協力体制、子育て期の働き方、職場の人間関係など、“現実的な悩み”が消えるわけではありません。本講演では、そうした問題に向き合ってきた経験から、
・家族との協力体制をどう築くか
・ライフイベントを経ても技術を磨き続けるための工夫
・自分に合った職場や働き方を見極める視点

など、明日から実践できる具体的なヒントをまとめてお伝えします。

また、キャリアを続けるうえで大切だと感じたことがあります。それは、誰かのためだけではなく“自分自身の人生として働く”という意識を持つことです。周囲の期待や状況に振り回される時期があっても、仕事に向き合う気持ちを大切にすることで、新しい選択肢や可能性は必ず開けていきます。

歯科技工は、経験を重ねるほどに深まる仕事です。何歳からでも新しい挑戦ができますし、自分に合った働き方に出会うこともできます。講演が、これからのキャリアを前向きに考えるきっかけになれば幸いです。

デジタル技工が拓く、新しいキャリアのかたち

ー 若手・女性歯科技工士が活躍できる仕組みと実践例 ー

近年、歯科技工業界はデジタル化の進展や働き方改革の推進により、従来とは異なる新たな職場環境づくりが求められています。特に若い歯科技工士にとって、早期に活躍できる仕組みやキャリア形成の道筋が重要視されるようになってきました。弊社では、早期からCAD/CAMや3Dプリントを中心としたデジタル技工を導入し、作業工程の標準化・属人化の軽減・生産性の向上に継続して取り組んでいます。これにより、技術習得にかかる時間の短縮や業務の見える化を進め、若い歯科技工士の早期戦力化、また出産・育児などを経て復職する

技工士のスムーズな現場復帰にもつながっています。経験年数のみで評価されがちだった従来の技工とは異なり、成長段階に応じた役割設定が可能となり、働き方とキャリアの選択肢が広がっています。

とりわけ女性の歯科技工士にとって、ライフイベントと仕事の両立は避けて通れないテーマです。デジタルワークフローは短時間勤務などが行いやすく、育児や家庭との両立を支援するとともに、離職を防ぎながら継続的なスキルアップを実現します。当ラボでは法令に基づく短勤務制度の遵守に加え、法制度では補えない就業時間・

日数への柔軟な対応を可能にする独自内規を整備し、多様な働き方を支える仕組みを構築しています

本講演では、女性の歯科技工士がどのようなプロセスで技術を習得し、各キャリアステージでどの業務に携わっているのかを事例を交え紹介します。「技術を磨きたい」「家庭と両立しつつ長く働きたい」「新しい領域に挑戦したい」—多様な価値観を持つ皆さまと、デジタル時代における新しい働き方とその可能性を共に考える機会にしたいと考えています。

趣味と子供と技工

はじめに、私は仕事をしていく上で息抜きは大切なことだと思っています。それが私は趣味でした。

25歳の時に院内ラボに勤めたいと思い探しましたが、募集しているところがなく、ないなら開業してしまえと思い付きで始めて早いもので来年で30年になります。今日までやってこられたのも、周りの人達の支えがあったからだと思います。

学生の時に将来は開業したいなと思っていたことが叶ってしまい、次は10年続けられればいいなあ位の軽い気持ちでした。この時は趣味としてサーフィンもやっていたのですが、色々なラボに見学に行ったり、講習会に参加したりすることも楽しかったので、今思うとこれも趣味に近かったように思います。仕事が次第に増え従業員を増やすと今度は仕事が足りなくなるというような堂々巡りに陥

りました。仕事を増やす上で、新規を増やすのではなく1軒当たりの内容を増やそうと新しい材料や機材を導入したり、技術向上のため仕事の合間に学校にも通いました。そんなこんなしてるうちに妊娠をしまして、出産をするときに改めて開業していて良かったなと思いました。育児をしながら、どのようにしてこの仕事を続けていったのか、良かったこと大変だったことなどお話ししたいと思います。

座 談 会

座長：傳寶弥里先生

女性歯科技工士が仕事を続けていくために必要な事



傳寶 弥里 [でんほう みさと]

略歴
1993年 東京医科歯科大学歯学部付属歯科技工士学校 卒業
1993年 歯科技工士免許取得
1993年 有限会社アイ・エス・デンタル 入社
2005年 有限会社アイ・エス・デンタル 退社
2005年 歯科技工所「アルモニア」開業
2022年 歯科技工所「アルモニア」廃業

■講師略歴

田川 美紀

[たがわ みき]



略歴

1999年 栄養士免許取得
2004年 新東京歯科技工士専門学校 卒業
2004年～2024年 歯科医院にて技工士兼歯科助手として勤務
2024年より株式会社コアデンタルラボ横浜に勤務

■講師略歴

滝沢 琢也

[たきざわ たくや]



(株)コアデンタルラボ横浜

略歴

1990年 神奈川歯科大学付属歯科技工士専門学校 卒業
1990年 株式会社コアデンタルラボ横浜 入社
2022年 株式会社コアデンタルラボ横浜 取締役就任
2023年 株式会社コアデンタルラボ横浜 専務取締役就任

■講師略歴

井ノ内 由布子

[いのうち ゆうこ]



略歴

1993年 横浜歯科技術専門学校 卒業
同年 NDL 勤務
1995年 早稲田トレーニングセンター 卒業
同年 ケイテックス 勤務
1996年 プレシジョン デンタル セラミック 設立
2004年 青嶋ゼミ アドバンス 卒業
2006年 法人化

2022年 株式会社メディナ入社
(バン格拉デシュ共和国に約4か月赴任)
2023年 株式会社メディナ退社
2023年 歯科コンサルタント「アルモニア」開業

■神奈川県歯科技工士会横浜支部支部長
■神奈川県歯科技工士連盟理事長